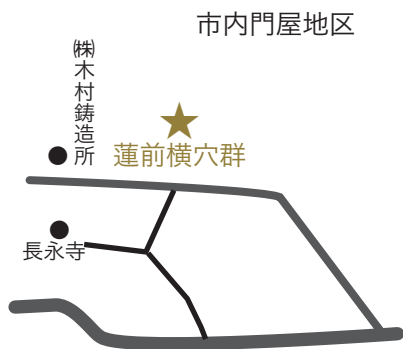




▲A群1・2号墳の周辺



▲発見された須恵器



## 埋蔵文化財包蔵地 蓮前横穴群

# History

## キラリを再発見

### 門屋地区最大の横穴群

蓮前横穴群は、昭和27年頃に発見された横穴群で、現在の榎木村铸造所御前崎工場の東側に立地していました。

昭和59年11月に計画された千歩ヶ谷土地改良事業により、昭和60年2月から5月にかけて発掘調査が実施され、調査の結果、全景写真の西側にあるA群2基(第1・2号墳)と、東側にあるB群4基(第3～6号墳)が発見され、門屋地区最大の横穴群であることが判明しました。

B群第5号墳以外の横穴から、8世紀前半の須恵器製の坏身や、つまみ付の坏蓋が発見されました。

一般的に7世紀末に古墳の造営は終わったと言われていますが、古墳の一種でもある蓮前横穴群からは奈良時代の副葬品しか出土していないことから、奈良時代になって新たに造営された横穴と考えられます。

照 会 社会教育課 0548③1129

# Atomic

## 暮らしと原子力

### 原子力安全技術研究所が 津波監視技術の研究を開始

原子力安全技術研究所では、御前崎の高台で津波を早期に精度よく検知する津波監視技術の研究・開発をはじめていきます。

#### 【レーダーによる津波監視技術】

電波の反射を用いて海表面の流速を観測し、津波襲来に伴う沖合の流速変化を検知します。現在は、試験的にVHF(※1)レーダーが発電所の東約7キロ、海拔約38メートルの地点に設置され、流速変化を検証しています。

より広域の津波監視が可能と考えられるHF(※2)帯電波を用いたレーダー技術の検証についても準備が進められています。

#### 【高感度カメラによる津波監視技術】

高感度カメラを用いて沖合を監視することで、津波の襲来状況を把握します。

#### 【GPS波浪計のデータ活用】

沖合約20キロに浮かべたブイ(GPS波浪計)の上下変動を計測し、波浪や潮位をリアルタイムで観測します。

中部電力は、福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、さらなる原子力の安全性向上を目指して、浜岡原子力発電所敷地内に原子力安全技術研究所を設置しています。現場を有効に活用した研究や現場ニーズを的確に反映した研究を続けていきます。



▲VHFレーダーのアンテナ

※1 周波数が30～300MHzの電波のこと  
※2 周波数が3～30MHzの電波のこと